

etext dbookPRO についてのご紹介

dbookPRO は、「先生と生徒が作る」授業を行う為のソフトウェアです。

教師が、スキャナで取り込んだ教科書を、電子黒板やプロジェクターを使って、生徒に大きく見せながら授業を行ったり、紙に手書きで作成したプリントや、生徒の撮影した写真を大きく見せたり、その上に描き込んだり、描きこんだものをそのまま動かして見せたりと、分かり易い授業を、生徒と一緒にやって行う為に最適なものを目指して開発しています。

一般のプレゼンテーションソフトのように、あらかじめ用意したストーリーに従って順送りで行っていき授業を行う他に、授業中の生徒の「ああしてみたい・こうしてみたい」に応えられる豊富な編集機能が用意されています。

dbookPRO を使って行う授業に決められたルールはありません。

dbookPRO では、画像ファイルが用意できれば、数秒でデジタルブックを作成し、そのまま授業をする事ができます。

<★まずは使ってみましょう★>

- (1) dbookproeditor.exe を起動してみてください。
- (2) 画面上の右から 5 番目の、「マイピクチャを開く」というボタンを押してみてください。
- (3) フォルダの中にある jpg 画像を数枚同時に選んで、dbookPRO にドラッグ&ドロップして下さい。(画像が無い場合は、ライブラリ→ピクチャ→サンプル ピクチャのフォルダにおそらく画像がありますので、これをドラッグ&ドロップしてください)
- (4) 現れるメニューから、「新規ブックの背景に読み込む」をクリックして下さい。
- (5) 現れる画面では、そのまま ok ボタンを押します。

はい、電子書籍の完成です！

「授業」ボタンを押すと、授業に最適な状態で、今作成した電子書籍を使った授業を行う事ができます。

この例では、マイピクチャから選びましたが、デジカメをコンピュータに接続して、その中のファイルを同じようにドロップすれば、デジカメ画像を”数秒で”電子書籍化できます。スキャナで書籍を取り込んだ場合の操作も同様です。

この方法でも簡単に電子書籍が作成でき、後からページを追加する時にも使える融通の利く方法ですが、実は更に高速に電子書籍を作成する方法が用意されています。

詳しくは、下の方に書いてある＜最速の使い方＞をご覧ください。

＜製品コンセプト＞

- ★ 特定の機能があるというだけでは無く、「いかに快適に使えるか」にこだわった設計。
- ★ 多くの機能をシンプルかつ快適に。
操作ボタンやメニューが少ないので一見、機能が少なく見えますが、実際には数多くの機能が組み込まれています。
- ★ 説明無しでも直観で使える操作方法と、より素早く操作できる操作方法を用意。
例えば、消しゴムで書いたものを消す事ができますが、ペンのまま、消しゴムに切り替える事なく、より素早く書いたものを消す機能が用意されています。
先生は、最適な操作方法を修得すると、より円滑に授業を進める事ができるようになると思います。
- ★ 気づきにくく、気づけば操作は簡単で便利な機能の多くは、このドキュメントの中に記述されています。
ざっとこのドキュメントに目を通した後、ある程度実際にソフトを使って操作して実際に使っていただいた後、もう一度このドキュメントに目を通していただけると、使い方が解りやすいと思います。

＜特徴的な機能＞

- ★ ペンでの書き込みは、素早い書き込みや多くの書き込みを行っても、カクカクの線にならず、スムーズで快適に書き込みができます。
- ★ ペンで書いている時、消したいものの上で、右下から左上（通常の文字を書く方向の逆方向）に線を引く事で、書き込み内容を素早く消す事ができるボタンが現れます。チョークと黒板消しに相当する、授業の基本操作をスムーズに行えます。
- ★ 何も無いところを囲んで、右下に現れるボタンを押すと、囲んだ範囲ぴったりの位置にズームインします。アニメーションしつつズームインするので、どこにズームインしたかを生徒が見失わないようになっています。一瞬手が離れてしまうなど、ドラッグ操作がやりにくい場合は、虫眼鏡ツールを使って、左上の点と右下の点をクリック、という手順でも拡大できます。キーボードが使える場合、スペースキー、エンターキー、＋キー、－キーを使う事でも、それぞれ違った方法でズームイン・ズームアウトを行えます。
（詳細は後述の[基本キーボード操作]を参考にして下さい）

- ★ ページめくりをリアルにアニメーションして、ページが切り替わった事を分かり易く生徒に伝えます。(この機能はオフに設定する事もできます。コンピュータの性能が低い場合や、ページめくりアニメーションが適さない場面では、機能を off に設定してご利用ください)
- ★ ズームイン後は、スクロールバーが右下に表示されるので、書き込みをしている状態から、ツールの切り替え操作をする事なく、紙面位置をスクロール移動できます。
- ★ 書き込みやページ移動など、殆どの操作を、複数回繰り返して取り消し・やり直しができます。
選択状態も取り消しができるので、複数のものを選択した後、ミスクリックで選択が解除された場合でも、元の選択状態に戻す事ができます。
- ★ 書きこんだものを複数選択して、素早くグループ化、反転、回転、サイズ変更、削除、複製できます。
この機能のボタンは、対象を選ぶだけで手元に表示されるので、メニューを開いたりツールバーからボタンを探したりする必要がありません。
また、この選択するだけで現れるボタンは、電子黒板でも操作し易いように、授業モードではボタンから少し外れた場所を押しても動作します。
- ★ 書いたものを選択した時、右上に現れる「設定」ボタンで、線の色や塗りの変更など、選択したものに依じて行える操作だけを、手元に表示する事ができます。
大量のメニュー項目やボタンから目的のボタンを探すのに時間を取られる事はありません。
ダブルクリック操作は電子黒板などのタッチパネルでも操作し易いように、少しずれた位置を2回クリックしても反応します。
- ★ キーボードとマウスでの操作と、電子黒板などのタッチパネル操作の両方に対応していて、どちらでも快適に操作できます。
- ★ ページの内容は、画面の大きさに関わらず、画面全体に大きく軽快かつ高画質に表示されます。
- ★ ボタンは画面の小さいコンピュータ上でも、押し易い大きさを保ちます。 逆に大きな画面でも不必要に大きなボタンにならず、紙面を画面いっぱいまで大きく表示します。

- ★ ズームインした状態でも、見た目の線の太さが同じまま、自然なペンの太さで板書ができます。
- ★ 書き込んだ内容や図形をダブルクリックして現れる、選択した図形の色や線の調整をする設定パネルは、選択内容を隠さないように邪魔にならない位置に自動的に移動します。
- ★ 設定パネルで行った変更は、OK ボタン等で変更の確定操作をする必要なく、即座に表示に反映されます。
誤った設定をしてしまった場合でも、繰り返し元に戻す事ができます。
- ★ ページは 1 ページずつ読み込むので、起動の時に長い時間またされる事はありません。
授業中は、何も操作をしていない時に、自動的に前後のページを読み込み、次ページの表示を高速化します。
授業のペースでページを移動する事を想定して最適化されています。
- ★ 少し古いパソコンや性能の低いパソコンでも快適に動作するように調整されています。
高性能なパソコンではより快適に動作します。
(詳細：4 年前に発売された WindowsXP のノートパソコンでも快適に動作する事を確認しています。JAET でのデモンストレーションでは、安価で持ち運びに便利なネットブック PC を利用して行いました)
- ★ コンパスや変形操作など、算数の授業に便利な道具が用意されています。
- ★ ペンや描きこんだ図形の反転操作は、アニメーションして見せる事ができるので、生徒に分かり易く説明する事ができます。
- ★ ページのサイズは、個々のページ毎に異なるサイズにする事ができます。紙の本のように、全てのページのサイズを揃える必要はありません。
- ★ キーボードとマウスで授業をする場合には、ダブルクリックで好きな位置に、テキストを入力する事ができるように設定できます。(キーボードを使わないコンピュータでは、この機能は off にする事もできます。標準状態では機能が off になっています)
- ★ ページの一覧は瞬時に表示され快適に操作できます。

<ウェブブラウザ上で動くように書き出した時は動作しない機能>

*次の機能はウェブブラウザ上で再生できるように書き出した後は、使うことができません。

- ★ **dbookPRO** の画面にドラッグ&ドロップで、画像ファイルを貼り付けする事ができます。複数の画像をまとめてドロップして、一気にページを作成する事もできます。複数画像を選ぶ時は、何もない所でマウスボタンを押してから、そのままマウスを動かしてドラッグします。キーボードが使える場合は、**Ctrl** キーや **Shift** キーを押しながら選ぶとより便利です。手早くページを作れるので、先生が紙に手書きで作成した自作のプリントを、前準備無しで授業中にいきなり素早く大きく表示して書き込むといった事もできます。
- ★ デジカメの画像は、より高速に一覧表示を作成します。多くの枚数がある場合でも、ほぼ瞬時に授業を行える状態になります。
- ★ 編集モードで、**mp3** 形式の音声ファイルを画面にドラッグ&ドロップで音声を貼り付けできます。
張り付けた **mp3** 音声を、授業モードでクリックすると、再生・停止ができます。
- ★ 編集モードで、**flv,f4v,mp4** 形式の動画ファイルを画面にドラッグ&ドロップで動画を貼り付けできます。(mp4 は、**h264** という形式になっている必要があります。**3gp** 形式の動画ファイルも、中身が **h264** という形式になっていれば、拡張子変更だけで表示できる場合があります)
- ★ **PDF** やワード・一太郎のファイルは、**xps** 形式に変換してから、**dbookPRO** へドラッグ&ドロップする事で張り付けする事ができます。**xps** 形式への変換は、各ソフトで、プリンタとして **Microsoft XPS Document Writer** を指定して印刷操作する事で、行う事が出来ます。(Windows Vista 以降または、**.Net Framework3.5** がコンピュータにインストールされている必要があります)
- ★ その他、とにかく画面に **dbookPRO** と一緒に使いたいファイルをドラッグ&ドロップすると、参照リンクを作成するか、**dbookPRO** のブック内にファイルを埋め込む事ができます。
- ★ ウェブブラウザをページの中に貼り付けする事ができます。ウェブブラウザ上に表示されるどんなページでも、ページの一部に組み込んで、上に書き込んだりズームインした

ることができます。(この機能は、書き出した後、dbookPROが入っていないコンピュータでは使えません)

- ★ 素早い画面キャプチャ貼り付け機能により、他のソフトの画面でも画像として貼り付け、上に書き込んだり、ページの一部にすることができます。
また、ページに読み込んだ画像の一部を画面キャプチャする事で、動かしたり・拡大・縮小・変形・複製ができる部品にできます。キャプチャ操作をした後、張り付いた画像のダブルクリックから透明度ボタンを押して、画像の一部を透明にすると、より有用な部品が作れます。また、キャプチャ操作をした直後、ワードや一太郎など、他のアプリケーションで貼り付け操作をすると、他のアプリケーションに dbookPRO の画像を張り付ける事できます。
- ★ 範囲選択をして、左下に現れるボタンをドラッグすると、前項の画面キャプチャよりさらに素早く、画面に表示された見た目の画像のまま、動かす事の出来る部品を作成できます。
- ★ 範囲選択をして、右上に現れるボタンをクリックすると、目隠し用の付箋を作成できます。付箋の上にペンで書き込んだり、テキストを入力したりできます。
- ★ 範囲選択をして、右上に現れるボタンをドラッグすると、範囲選択した部分の画像を、いきなり動かしているように見せることができます。(実際には、前々項の、左下ドラッグと、右上クリックを組み合わせた機能になっています)
- ★ 編集用のモードと授業用のモードを瞬時に切替えできるので、編集作業から即、授業に入る事ができます。授業用に書き出す作業の待ち時間はありません。
授業中でも、ちょっとだけ編集した後、すぐに授業に戻る事ができます。
授業は企業等のプレゼンテーションとは違い、即興での編集作業も必要とされる事を想定して、編集用のモードから授業用のモードに切り替えても、先頭ページに戻ってしまわないようになっています。
- ★ 授業用のモードでも、画像の貼り付けやページ作成など等を行う事ができるので、授業を中断する事なく、授業の中で生徒が撮った写真や、生徒が描いた画像を大きくみんなに見せたりできます。
- ★ 画像やフラッシュアニメーションを、ワンクリックで大きく表示(ポップアップ表示)するボタンが作れます。大きく表示された画像やフラッシュアニメーションの上でも、

紙面と同様に書き込みや拡大ができます。

- ★ 閲覧用モードだけでなく編集用のモードでも、ボタン類が置かれている領域は小さく、ページを大きく表示します。

操作ボタン類に場所を取られて肝心のページを編集する領域が狭くなってしまわないようになっています。書きこんだ後、書いたものに対して変更をするには、選択したものの周りに表示されるボタンで変形操作、右上の「設定」ボタンから開くパネルでその他の設定や操作、が基本になります。選んでいるものを編集するのに使うボタンだけが現れます。マウス右クリックからも、選択したものに依じて、いろいろな操作を行う事ができます。右クリックの操作は、設定パネル上のボタンでも同じ機能を使う事ができます。

- ★ 一般的なプレゼンテーションソフトと異なり、授業用のモードでも、多くの編集機能を備えています。

これは、入念に準備をして一発勝負のプレゼンテーションと異なり、毎日行う普段の授業は、先生が紙で作成したプリントを見せる・生徒が撮った写真を授業中に見せる、生徒が書き込んだり図形の変形操作をする、といった即興で編集を行う事が多い事を想定しています。

○dbookPRO の動作には、adobe FlashPlayer のインストールが必要です。

インターネットエクスプローラ用の最新版の FlashPlayer をインストールしてお使い下さい。

<http://www.adobe.com/go/getflashplayer>

(動作の安定性とセキュリティ問題修正の為、FlashPlayer は最新版をお使いになる事をお勧めします。)

<最速の使い方>

「jpg 画像ファイルのダブルクリックと右クリックメニューに登録・登録解除.wsf」をダブルクリックして実行しておくと、

jpg 画像ファイルをダブルクリックするだけで、いきなり授業に入る事ができるようになります。スキャンした画像や、デジカメで取った画像を dbookPRO で使いたい時、「えーつと dbookPRO はどこ？」とプログラムを探す必要がありません。

(この設定は現在ログインしているユーザにだけ設定され、もう一度このファイルをダブルクリックで実行すると、コンピュータで設定されている共通の設定に戻ります。

うまく設定できない場合は、手作業で dbookPROeditor.exe に関連付けする事で動作しま

す)。

さらに、複数の画像を選んでからマウスの右クリックから「dbookPRO する」を選ぶと、まとめてページを作る事もできます。ただし、このマウス右クリックからの貼り付けは、同時に追加する画像枚数が少ない時だけ正しく動作します。

たくさんのページを一気に作る場合は、dbookPRO の画面に、画像ファイルをまとめてドロップしてください。

すでに dbookPRO を起動している時は、jpg 画像ファイルをダブルクリックすると、現在開いているブックに新しいページとして追加等ができます。

<旧 dbook を使われている方へ>

旧 dbook では、教材を編集した後、授業で使う用に Flash 形式で出力、という作業が必要でしたが、dbookPRO では、編集用のモードと、授業用のモードを切り替えて使う、という方法に変更されています。編集と授業用のモードを、授業中であっても瞬時に切り替えることができます。

旧 dbook のように、e-learning 教材の作成や、dbookPRO が入っていないコンピュータで使用する為に出力する機能もありますが、出力作業なしで、dbookPRO 上でそのまま授業を行う事で、全ての機能を使う事ができます。

旧 dbook の大きくズームした時に線が細くなってしまう問題が解消されています。

旧 dbook に比べ、コンパスツールが大きく改良されて使いやすくなっています。授業モードで、コンパスを置いた時に現れる「?」ボタンから、操作方法をチェックする事ができます。コンパスで円弧を描いた後、ダブルクリックから円弧を塗りつぶす事もできます。範囲選択は、ドラッグしている時に、範囲にどれが含まれるかを表示するので、選びやすくなっています。

旧 dbook に比べ、細い線の移動や選択操作がやりやすくなっています。

その他、非常に多岐に渡る改良が行われ、根本的に作り替えられております。

<操作方法について>

●●●●ここから下は、実際に etextdbookPRO を直感で使ってみた後、より詳しく機能や

操作を知りたくなった時の参考にされるのがよいかと思います。●●●●

★マークのついている項目は、説明なしで操作しているだけでは気づきにくいですが、知っているると便利、という項目です。

<各ツールの機能>

ツールとは現実世界で、鉛筆と消しゴムを持ちかえたりするのと同じように、ボタンをクリックする事で操作モードが切り替わるものの事を言います。編集モードでは、画面左にこれらのボタンが並んでいます。

★矢印/円/長方形等の図形描画用のツールは、編集用のモードでは、一つ図形を描くと選択ツールに戻ります。同じ種類の図形を続けて作成する場合は、描画した図形の左下の○をドラッグで複製すると便利です。授業用のモードでは、描画する毎にツールが自動で選択ツールに切り替わることなく、繰り返し描画されます。

○選択ツール

クリックまたはドラッグして囲むことで、書き込み内容や図形を選択します。

★選択した後、自動的にいくつかのボタンが表示され、次の操作が行えます。

右上の×クリック： 削除

右真ん中の□ドラッグ： 横方向サイズ変更

右下の□ドラッグ： サイズ変更

下の□ドラッグ： 縦方向サイズ変更

左下の○○ドラッグ： 複製

左の□クリック： 横方向反転

左上の×ドラッグ：

線対称に反転する点を設定（これをドラッグした後、真ん中の×をドラッグして、線対称の線を設定し、線分の真ん中をクリックすると線対称に反転します）線対称の設定を解除するには、図形をダブルクリックしてから「リセット」ボタンを押します。

上の□クリック： 縦方向反転

中央の上に飛び出た○のドラッグ： 回転

真ん中の×ドラッグ： 変形の時の原点を移動

★ドラッグして対象を移動するだけの場合は、このボタンは表示されません。授

業での話しに沿って、動かす操作だけを見せたい場合は、選択を解除してからドラッグすると、余計なものを表示しないで動きだけを見せることができます。

★動かした後、アンドゥボタン・リドゥボタンを押すと、操作した動きを繰り返して見せる事ができます。

★複数のものを同時に選択した状態では、右下のGボタンでグループ化します。

★グループ化したものを選択した時は、右下に、グループ化を解除する田ボタンが現れます。

★選択した後、右クリックメニューまたは、設定パネルの上で、次の操作が行えます。

(テキスト入力の上での右クリックでは、テキストのコピー・切り取り・貼り付け・削除だけです)

コピー

切り取り

貼り付け

削除

グループ化

★ロックの解除

編集モードの時、ロックしたものをロック解除します。

グループ解除

手前へ

選択したものを一番手前に移動します。

背面へ

選択したものを一番背面に移動します。

一つ手前へ

選択したものを一つ手前に移動します。

一つ背面へ

選択したものを一つ背面に移動します。

★整列とサイズ揃え

選択したものを、同じ位置に並べたり、等間隔に配置したり、大きさを揃えたりするためのパネルを表示します。

設定パネルを表示

線の色やぬりの色など、選んだものに合った、設定を行うパネルを表示します。

★既定のスタイルとして設定

次に描画する線の太さやぬりの色などが、今選んでいるものと同じになります。

★変形をリセット

回転や反転等の変形操作を取り消して元の形に戻します。

★選択した後、**Shift** キーを押しながら、別の図形や画像をクリックする事で、一つ一つ、選択範囲に追加/削除ができます。

○消しゴムツール

★ドラッグして、下にあるものを削除します。

★旧 dbook で消しにくかった細い線でも、素早く消す事ができます。

ロックがかかっているものは消えないようにする事ができます。ロックの設定は、編集用のモードで、ロックしたい対象をダブルクリックして現れるパネルで行います。

★消したいものをクリックする事で消えます。

★クリックで消す場合は、複数消せるものが重なっている場合でも、一番手前のものだけを消す事ができます。

★クリックした時、マウス位置丁度の場所に何も無い場合は、近くにあるものが消えます（クリックしたのに狙いが外れて消えなかった、ということが起きにくくなっています）。

○グラブツール

ドラッグしてページ内容の表示位置を移動します。

○虫眼鏡ツール

ドラッグして範囲選択した領域にズームインします。ズーム範囲の左上と右下をクリック、でも同じようにズームインできます。

ダブルクリックした場合は、その位置が中心にくるようにズームインします。

○マスクつき虫眼鏡ツール

ドラッグして、選択した領域にズームインしつつ、選択されていない部分に白いマスクをかけます。

★この状態でペン等で書き込みをした後、全体表示に戻すと、ワンクリックで、

ズームイン状態を復元する事ができるボタンが作られます。

このボタンは、消しゴムで削除する事ができます。

★編集モードでこのズームイン用ボタンを作成した場合は、授業モードでは削除されないようにできます。

これにより、ズームインする領域をあらかじめ作成しておく、授業中に1クリックでズームできるようになります。

★編集モードでは、このズームイン用ボタンの位置を移動できます。

○メモツール

ドラッグした位置にメモを置きます。置いたメモの一行目の文字列が、メモ一覧に自動的に表示されます。

★メモに色を付けると、メモ一覧にも色が反映されます。

★クリックでメモを置いた場合は、自動的に文字の長さに応じてメモの横幅が変わります。

★メモの高さは、マウスで□をドラッグしてサイズ変更した場合は、そのサイズに固定されます。

メモをダブルクリックか、メモ右上に表示される「設定」ボタンで、詳細な書式設定を行う事ができます。

○ペンツール・マーカーツール

ドラッグして、ペンで書き込みをします。

★書き込み内容の上に、右下から左上に向かって線を引くと、書き込み内容を一気に削除できるボタンが現れます。

貼り付けた画像の内側に線を引いてこの削除ボタンを押した場合、画像は削除されない、画像の上の書き込みだけを削除する事ができます。

少しでも削除用の矩形に触れているものは削除されます（長い線でも、上に少し線を引くだけで消す事ができます）。

○めくれる付箋メモツール

ドラッグして、黄色い付箋を貼ります。

付箋は、メモツールで作成されるメモに、黄色い色とめくりボタンが付き、メモ一覧には現れないように設定されたものです。

○矩形ツール

ドラッグして、長方形を描画します。

描いた後、ダブルクリックまたは右上設定ボタンから、線や塗りなどいろいろな

設定変更ができます。

○楕円ツール

ドラッグして楕円を描きます。

描いた後、ダブルクリックまたは右上設定ボタンから、線や塗りなどいろいろな設定変更ができます。

○正円ツール

ドラッグして正円を描きます。

描いた後、ダブルクリックまたは右上設定ボタンから、線や塗りなどいろいろな設定変更ができます。

○直線ツール

直線を引きます。

引いた後、線をダブルクリックで、太さ・線の色・線種の変更ができます。

○折れ線ツール

連続してクリックする事で、折れ線を描きます。

描いている線を切るには、ダブルクリックします。

描いた後、ダブルクリックで線の色・太さの変更ができます。

○多角形ツール

連続してクリックする事で多角形を描きます。

ダブルクリックするか、描画開始の点をクリックすると、描き終わります。

描いた後、線の太さ・線の色・塗りの変更ができます。

○矢印ツール

ドラッグして矢印を引きます。

引いた後、ダブルクリックで線や塗りなどいろいろな設定変更ができます。

○円弧ツール

インターネット上のウェブページや、編集中のブック内の他のページへのリンクを張る事ができます。

○リンクツール

ドラッグして囲んだ領域に、インターネット上のウェブページや、編集中のブック

ク内のページへのリンクを張る事ができます。

○組み込みスタンプツール

dbookPRO にあらかじめ登録されたスタンプを貼り付けます。最初状態で、コイン 1・コイン 10・コイン 100・おはじき青・おはじき赤・タイルが登録されています。

○算数ツール

三角定規・コンパス・電卓等が使えます。

コンパスは、ドラッグ移動を繰り返す事で操作します。どの部分をドラッグしたかに応じて、位置を移動したり、開いたり、回したり、円弧を描いたり、動作が変わるようになっています。

三角定規や定規は、ドラッグする場所に応じて、回転操作か移動操作が行えます。

電卓は、上の部分をドラッグで移動、ボタンは電卓として動作します。

<各ツールバー上に置くことができるボタンの機能>

・「新規ブック」 ボタン

新規のブックを作成します。

・「開く」 ボタン

保存したブックを開きます。

1つのブックは一つのフォルダに保存されているので、ブックを開くときは、保存したブックと同じ名前の拡張子.xdbp のファイルを開きます。

・「最近使ったファイル」 ボタン

最近使ったブックの一覧からブックを素早く開きます。

・「ブックの切り替え」 ボタン

現在のブックを切り替えます。

★ここからも最近使ったファイル一覧を開く事ができます。

★現在開いているブックと同じフォルダに保存されているブックの一覧から開く事もできます。

・「名前を付けて保存」 ボタン

現在のブックに名前を付けて保存します。

dbookPRO では、1つのブックを1つのフォルダとして保存します。
フォルダとして保存すると、ドキュメントを開く時と保存する時の動作が速くなり、たくさんのページやサイズの大きいデータが入ったドキュメントを作るのに向いています。

また、ドキュメント内の画像データを、直接他の画像編集ソフトなどで編集する事ができます。

ファイルの種類から、「**dbookPRO** ドキュメント単一ファイル」を選べば、一つのファイルとして保存する形式を選択する事もできます。

- ・「背景レイヤ」 ボタン

押し下げた状態にしておくと、背景レイヤの内容を編集できるようになります。

- ・「他のコンピュータ用に書き出し」 ボタン

dbookPRO がインストールされていない環境でも再生可能な形式で出力します。
再生する環境には、最新の **flashplayer** がインストールされている必要があります。
パブリッシュしたものを再生する時は、ドラッグドロップでの画像貼り付けなど、エディタ専用の機能は利用する事ができないものになります。

- ・「印刷」 ボタン

ページを印刷します。

- ・「コピー」 ボタン

選択したものをコピーします。

- ・「貼り付け」 ボタン

コピーしたものを貼り付けます。

★ワード・パワーポイント・エクセル等、選択内容を画像としてコピーできるソフトの場合は、そのソフトでコピー操作を行ってから、**dbookPRO** 上に貼り付けする事ができます。

★張り付けた後、画像をダブルクリックして開くパネルで、「透明色」ボタンをクリックして、画像をクリックすると、クリックした部分と同じ色の部分を透明にできます。

★逆に、**dbookPRO** 上で表示されているものを他のソフトに貼り付けするには、「スクリーンキャプチャを張る」機能でキャプチャした後、他のソフトで貼り付け操作を行います。

- ・「元に戻す」 ボタン

直前に行った操作を元に戻します。

★書き込み操作・ページ移動・ページの追加削除・書き込みの選択状態など、ほとんどの操作を繰り返し取り消して元に戻す事ができます。

・「やり直し」 ボタン

「元に戻す」を取り消して、再度やり直します。

・「順序」 ボタン

「後ろへ」「手前へ」「一つ後ろへ」「一つ手前へ」の各ボタンを表示します。

・「後ろへ」 ボタン

選択したものの重ね順を、一番下にします。(右クリックのメニューまたは設定パネル上ボタンと同じです)

・「手前へ」 ボタン

選択したものの重ね順を、一番上にします。(右クリックのメニューまたは設定パネル上ボタンと同じです)

・「一つ後ろへ」 ボタン

選択したものの重ね順を、一つ下にします。(右クリックのメニューまたは設定パネル上ボタンと同じです)

・「一つ手前へ」 ボタン

選択したものの重ね順を、一つ上にします。(右クリックのメニューまたは設定パネル上ボタンと同じです)

・「最も左のページ」 ボタン

最も左のページに移動します。

・「左隣のページ」 ボタン

左隣のページに移動します。キーボードの←キーでも同じ操作ができます。

・「ページ移動」 ボタン

ページ番号を入力して、ページを移動します。ボタンでもキーボードでもページ番号を指定できます。

・「右隣のページ」 ボタン

右隣のページに移動します。キーボードの→キーでも同じ操作ができます。

・「全体表示」 ボタン

ページ全体を表示する状態にします。キーボードのエンターキーでも同様の操作ができます。

・「メモ一覧」 ボタン

ブック内にあるメモの一覧を表示します。メモをクリックすると、メモの張り付けられたページにジャンプできます。現バージョンでは一つのドキュメント内で移動しかできませんが、紙の本での付箋・ブラウザの「お気に入り」のような使

い方ができます。

・「再読み込み」 ボタン

ドキュメントに張り付けられた画像や、フラッシュアニメ等のコンテンツの再読み込みができます。

・「全消去」 ボタン

書き込み内容や、ロックされていない編集可能なものを全て消去します。

・「マイピクチャを開く」 ボタン

マイピクチャのフォルダを開きます。

開いたフォルダの中にある画像ファイルを画面にドラッグドロップで貼り付ける事ができます。

・「スクリーンキャプチャを張る」 ボタン

表示されている画面を画像として切り抜いて貼り付けします。貼り付けしたい部分の左上の点と、右下の点をクリックします。

一定時間後の画面を貼り付けする事もできます。(主に他のソフトで表示されている画面を画像として張り付けるのに使います)

「貼り付け」と同様に、張り付いた画像をダブルクリックしてから、「透明色」を設定して、指定した色の部分を透明にする事ができます。

★この操作を行って画面を切り抜いた後は、画像がコピーされた状態になるので、そのまま他のワープロソフトやペイントソフト等に画面を貼り付けする事ができます。

・「参照されていないファイルの削除」 ボタン

現在のブックの中にあるファイルで、使われていないファイルを削除します。

スクリーンキャプチャや、画像を張り付け、その後張り付けたものを削除した場合、保存ファイルの中にゴミファイルが残り、フォルダの中身のサイズが不必要に大きくなってしまいます。その為、このゴミファイルをこれを削除するのに使います。

・「編集」 ボタン、「授業」 ボタン

★編集用のモードと授業用のモードを切り替えます。

★編集モードと授業モードでは、主に次の機能が切り替わります。

- ・編集モードで行ったペンの書き込みや、張り付けた画像は、授業モードの時、選択操作ができなくなり、消しゴム等の操作で消したり、移動やサイズ変更を行ってしまう事が無いようになります。編集モードで書き込みした内容を、授業モードで動かせるようにしたい場合は、編集モードでダブルクリックして開くパネル上の、「授業モードでロック」という項目を外します。
- ・ページの並べ替え、ページサムネイルダブルクリックでのページの設定変更は、編集モードの時だけ利用できます。

- ・授業モードの時に張り付けた画像や書き込みは、授業モードの時に消しゴムなどで削除する事ができます。
- ・ポップアップウィンドウを開くボタンなど、マウスに反応して動作する部品は、編集モードでのみ位置設定を行えます。

・「初期化」 ボタン

編集モードで保存した時の状態に戻します。

今表示しているページだけ元に戻すか、ドキュメント全体で元に戻すかを選択できます。

<選択したものをダブルクリックで現れる設定パネル上の機能>

・各設定パネルで共通の設定

・★授業モードでロック

授業用のモードで、消しゴムや、選択操作から行う操作を行えないようにします。編集モードの時に描画した図形やペンの書き込みは、この設定がされた状態になります。

・★編集モードでロック

編集用のモードで、消しゴムや選択操作を行えないようにします。貼り付けた画像の上に文字や図を書く時など、編集中、一時的に動かなくしておきたいものに設定します。編集モードでのロックを解除するには、マウス右クリックから「ロックを解除」で行います。

・ x

選択したもののについての横方向の座標値です。

・ y

選択したもののについての縦方向の座標値です。

・ 幅

選択したもののについての幅です。

・ 高さ

選択したもののについての高さです。

・ x 倍率

選択したもののについての横方向の拡大率です。

★授業中に張り付けたメモは、この倍率が画面に合わせて変更されます。そのため、同じフォントサイズでも、表示される文

字のサイズが異なる場合があります。

★テキストの文字の大きさを揃えるには、この倍率も同時に揃えます。

- ・ y 倍率

選択したものについての縦方向の拡大率です。

- ・ 矩形、楕円、多角形をダブルクリックした時の設定パネル

線の太さ、線の色、塗りつぶしの色の変更ができます。色をクリックした後、100%となっている所を変更で透明度の変更もできます。

- ・ 直線をダブルクリックした時の設定パネル

線の太さ、線の色、線の種類の変更ができます。

- ・ 矢印をダブルクリックした時の設定パネル

線の太さ、線の色、矢印の形、線の種類の変更ができます。

- ・ 編集用モードでリンクをダブルクリックした時の設定パネル

リンクに表示するリンク用のテキストと、リンク先の **URL** を設定できます。
数字を入力して **Enter** キーを押すと、その番号のページへのリンクに設定されます。

ページ一覧を表示した状態で、「ページへのリンク」ボタンをクリックすると、ページの一覧上でページをクリックする事でもリンクを設定する事ができます。

「自動サイズ調整」にチェックを付けておくと、「リンク用文字」に設定したテキストのサイズに、自動的にサイズが変更されます。

- ・ 画像をダブルクリックした時の設定パネル

- ・ 「透明色」ボタン

画像の同じ色で塗られている部分を透明にする事ができます。

- ・ 「編集」ボタン

ペイントで画像を編集します。

- ・ ★「ポップアップウィンドウにする」ボタン

画像をボタンクリックで開くポップアップウィンドウで表示するようになります。

編集モードでウィンドウの位置を調節した後、ポップアップウィンドウの×ボタンをクリックして見えなくしておき、授業モードでウィンドウを開くボタンをクリックすると、ウィンドウがポップアップして開きます。

ポップアップウィンドウを閉じる時、閉じるボタンの横にある、最大化ボタンで最大化しておくと、ページのズーム状態に関わ

らず、ページを表示する領域全体に広がるウィンドウが開かれるようになります。

このポップアップウィンドウは **dbookPRO** の中で開かれるので、上に描きこんだりズームインしたりできます。

- ・「再読み込み」ボタン

外部のソフトで編集等を行った画像を、再読み込みして、編集内容を反映させます。

・画像をダブルクリックから「ポップアップウィンドウにする」ボタンにより作成されるポップアップを開くためのボタンをダブルクリックした時の設定パネル

- ・「ポップアップウィンドウを表示」ボタン

ポップアップウィンドウを表示します。

- ・ボタンの種類選択コンボボックス

ボタンの種類を選択します。

初期設定では、画像とビデオだけが設定されています。

- ・編集ボタン

ポップアップウィンドウに使う画像ファイルの場所を開きます。

- ・再読み込み

ボタン用画像を再読み込みします。

- ・ボタン画像の URL

ボタンに使用する画像ファイルの場所です。

・マスクつき虫眼鏡ツールで作成したズームイン用ボタンを、編集モードでダブルクリック

- ・「ズーム状態にする」ボタン

ズームインします。

- ・「自動削除」チェックボックス

ズームした状態で、かつ書き込み内容が無い状態で、ズームアウトした場合に、自動的にボタンを削除するかどうかの設定です。

- ・「授業モード中に削除可能」

授業モード中に「消しゴム」でボタンを削除できるようにするかかどうかです。

<覚えると便利！[基本キーボード操作]>

より、素早く操作するには、キーボード操作を覚えると便利です。

※キーボードを使わなくても、全ての機能はマウスや電子黒板のタッチ操作から行うことができます。

※キーボード操作が思うように反応しない場合は、紙面を一度クリックしてみてください。

- ・エンターキーで、ページ左上へ拡大し、ページを拡大している状態でエンターキーで、全体表示に戻ります。

- ・ページを拡大している状態で、↑↓←→の方向キーで、ページ表示位置を移動できます。

- ・スペースキーのみで、順々にページを閲覧していく事ができます。

スペースキーを押す度に、ズームイン、上から下にスクロール、右上にスクロール、右下にスクロール、ページ全体表示に戻して次のページ、と順々に表示されます。スクロール中にスペースキーを押すと、スクロールが停止します。

- ・ページ全体を表示している状態または、左右の端までスクロールした状態で、→←キーで、ページをめくれます。

- ・+キーでページ表示を拡大、-キーでページ表示を縮小します。

- ・delete キーで、選択したものを削除します。

- ・Ctrl キーを押しながら、マウスのホイールで、マウス位置ぴったりの場所を拡大/縮小できます。

- ・選択ツールの時、Ctrl キーを押しながらドラッグすると、グラブツールと同じく、紙面を移動できます。

- ・F11 キーで、フルスクリーンと通常の状態を切り替えます。(エディタ版のみ対応。ブラウザ上ではブラウザの URL 入力する所をクリックした後、F11 キーで、ブラウザの機能によるフルスクリーンを使用下さい) ウェブブラウザの機能でのフルスクリーンを解除するには、画面上部をクリックします。

- ・バックスペースキーまたは、Ctrl+Z キーで、操作の取り消し（アンドゥ）ができます。

- ・Shift+バックスペースキーまたは、Ctrl+U キーで操作をやり直し（リドゥ）ができます。

- ・Ctrl+C キーでコピー、Ctrl+V キーで貼り付けができます。(エディタ版のみ)

- ・Ctrl+A キーで全体を選択します。

- ・F5 キーで、授業モードと編集モードを切り替えます。

<dbookPRO のエディタ版を使う際のご注意 1>

教科書をスキャンして、授業で生徒に見せる事は、教育用途の特例として認められていますが、「授業を行う教師自身がスキャナを使って読み込んで作成した」ものに限られます。例えば、書籍をスキャンしたものを学内サーバに置いて、複数の教師で共有する事は著作権を侵す違法行為となります。

先生が自作したプリント等を共有する場合には、この制限はありません。

<bookpro のエディタ版を使う際のご注意 2 >

dbookPRO のドキュメントファイルは、一定のセキュリティを確保するようになっていますが、メールで送られてきた見知らぬファイルや、作成元が信頼できないウェブサイト上からダウンロードしたファイルは開かないように注意してください。

このことは、すべてのファイルに当てはまることでもあります。dbookPRO のエディタ版では、ウェブページを表示する等、多くの機能を持っている為、よりご注意下さい。

作成した教材を他の人に渡して使ってもらう場合は、機能は制限されますが、「他のコンピュータ用に書き出し」をして、一般のブラウザ上で動作するように出力したものが便利です。

以下、コンピュータに詳しく、より高度に使い込みたい、という人向けの機能です。

・[プログラミング知識のある人向けの高度な機能] フラッシュアニメーションの張り付け

★フラッシュアニメーションファイル(**swf**)は、セキュリティ上の理由で、特別なフォルダからしか読み込むことができないよう、制限されています。

swf ファイルを画面にドロップして貼り付けようとする、警告の表示と、**swf** ファイルを読み込む事ができる特殊なフォルダ(**trusted** という名前)を開くかどうかを確認する画面が現れます。

張り付けた **swf** ファイルは、保存する dbookPRO ドキュメントの中には埋め込まれず、常にこの特殊なフォルダの下から読み込まれるようになります。

swf の配置や設定は、編集モードの時のみ行う事ができます。dbookPRO に張り付けた **swf** をダブルクリックすると、マウスの挙動や、パラメータ設定など、いくつかの設定ができるようになっています。

swf ファイルを張り付けたドキュメントを、他のコンピュータで開くには、他のコンピュータ上の **trusted** フォルダの中の同じ場所に、同じ **SWF** ファイルをコピーする必要があります。

ウェブブラウザ上で動作するように出力した場合は、自動的にファイルがコピーされるので、これを気にする必要はありません。

・[プログラミング知識のある人向けの高度な機能] dbookPRO に貼り付けるフラッシュアニメーションの仕様について

dbookPRO 上にフラッシュアニメーションを貼り付ける場合、**root** の座標とグロ

ーバル座標が異なる事にご注意下さい。例えば、hitTestPoint 関数は、グローバル座標を引数にとりますので、hitTestPoint(root.mouseX,root.mouseY)とした時、マウスにヒットしているかどうかを正しく判定できません。代わりに、localToGlobal を使うか、マウスイベントの stageX,stageY を使って下さい。

ActionScript3 で作られた SWF ファイルの場合、MOUSE_DOWN、MOUSE_CLICK、MOUSE_DOUBLE_CLICK イベントのリスナーが設定されている領域の上では、dbookPRO の範囲選択操作が自動的に無効になります。

SWF ファイル出力時のパブリッシュ設定では、「ローカルファイルにのみアクセスする」を選んで下さい。SWF ファイルのバージョンは、バージョン 8 以降(10.1 が望ましいです)を指定して下さい。古いバージョンで書き出した SWF ファイルや、SWF ファイル内の ActionScript の内容によっては、dbookPRO の動作が不安定になる場合があります。

dbookPRO のフレームレートは 24fps です。

・[プログラミング知識のある人向けの高度な機能] ウェブブラウザの貼り付け

★ウェブブラウザ貼り付け機能は、ウェブブラウザ上で動くように書き出したバージョンでは動作しません。dbookPRO 上で動作する時専用の機能になります。

★張り付けたブラウザをダブルクリックして現れる設定パネル上で、swf ファイルの URL を指定すると、flash アニメーションを表示する事も出来ます。

インターネット上の swf ファイルならば、ウェブブラウザ上での動作とほぼ同じ状態で動作します。ドラッグドロップで trusted フォルダから貼り付けた場合にうまく動作しない swf も、この方法で張り付けると正常に動作する可能性が高くなります。

ハードディスク上の swf ファイルならば、セキュリティの機能制限のかかった状態で再生されます。

・[プログラミング知識のある人向けの高度な機能] ツールバーのカスタマイズ

ツールバーの配置やボタンは settings.xml を書き換える事で自由にカスタマイズが出来ます。html 上で再生用に出力する時のツールバーをカスタマイズするには、playerSettings.xml を変更します。

(但し、現バージョンでは、バージョンアップした時には、このファイルも変更されるので、自身でツールバーをカスタマイズした場合、バージョンアップする度にカスタマイズした部分の設定しなおしになります。

このファイルを直接書き変えた場合の動作は保障しかねますので、レジストリを直接操作するのと同様とお考えください。)